

第6回 福山市路上喫煙防止対策協議会 意見概要

1. 日時等

日 時 : 2023年(令和5年)10月12日(木) 13:00~15:00

場 所 : 福山市役所本庁舎東棟3階 306会議室

2. 出席者

委 員: 杉原成美 副会長、有本靖朗 委員、大濱憲司 委員、眞谷愛菜 委員、田中知徳 委員
中川勉 委員、藤井伸哉 委員、三上貴久美 委員、宮田明 委員

(9名)

事務局: 廃棄物対策課長、健康推進課長

3. 欠席者

小林眞理子 委員、三谷繭子 委員、渡邊一成 会長

4. 要旨

○会議は、公開で行われた。

○委員12名中9名の出席があった。

○設置要綱の改正を行い、事務局を環境総務課から廃棄物対策課に変更した。

○福山市路上喫煙防止対策協議会設置要綱第5条第1項により会長は渡邊委員、副会長は杉原委員とすることが報告された。

5. 第5回福山市路上喫煙防止対策協議会の協議事項の確認

6. 報告事項

これまでの路上喫煙防止対策及び環境美化に関する取組について

(1) 周知啓発活動について 【資料3】

(2) 周知用看板等設置について 【資料4】

・それぞれ取り組まれているが、活動が点にしかなくておらず、線あるいは面のように広がっていく方法があるのではないかと。地域へ広がりを持たせていくために、自治会連合会もお手伝いできる部分あると思う。

・路上喫煙者へ路上喫煙禁止の呼びかけは、毎回、何人くらいに説明されているのか。また、路上喫煙者の反応はどうか。

→呼びかけは、大体4名から8名程度に行っている。厳しく注意するのではなく、条例の趣旨を丁寧に説明すれば、ほとんどの方は理解いただき喫煙を止めてもらえる。ただ、ポイ捨て状況からも、パトロールの時間外や人目がない場所での路上喫煙はあるようだ。

・パトロールの曜日が固定していたら、路上喫煙者がその時間帯を避けるようになるかと思うので、

実施する曜日をアトランダムにしてみるのも面白い。いずれにしても試み自体は非常に良いものだと思う。

(3) 喫煙所の整備について

【資料5】

- ・将来的には喫煙所のない社会をめざすべきだと感じるが、必要性があり喫煙所を設置する以上は、利便性も考慮する必要があるのではないかな。

(4) 路上喫煙・ポイ捨て状況について

【資料6】

- ・2022年年度の1カ月平均2,400本と比較して、2023年年度の上半期の平均が約700本と大きく減少しているが、調査方法等の条件に違いはないのか。
 - 基本的な条件に変更はない。
 - コロナ禍が明けて、人の活動が活発になってきてはいたが、地域や商店街、あるいはボランティアの清掃活動も活発になってきた影響も考えられる。
- ・福山駅近くに住んでいるが、まだ若い人で吸っている人はいるが。路上喫煙者は減少しているように感じる。データを比較できるように同じ条件場所等、調査方法などは検討していく必要はある。

(5) 市政モニターアンケートについて

【資料7】

- ・アンケート結果からは、約7割の方が条例の改正や内容を知らないという内容であった。この調査結果を踏まえて、さらにイベントやパトロールに注力していきたい。
- ・車の駐車場付近の清掃を二日に一回行っているが、毎回30～50本ありなくなることはない。ポイ捨ては観光客が多いと予想するが、何度か直接、注意したこともある。今後、啓発にどう取り組んでいくべきかアンケート結果だけでは見えてこない。協議会と通じて、意見を出し合う中で議論いただくのが一つの打開策ではないかな。
- ・喫煙は喫煙者の身体や国の財政面においても良いことはない。例えば禁煙の話をして聞きに来るのは非喫煙者ばかりで、喫煙者にはなかなか届かない。喫煙の一番の被害者は喫煙者だけど、それが分からないのが怖いところと思う。

7. 協議事項

今後の福山駅周辺の路上喫煙防止対策について

(1) 喫煙所の整備

【資料8】

- ・喫煙者は福山駅周辺だけではなく、飲食店街にも必要と感じる。店先に灰皿のみ置いていところが結構あるが、受動喫煙のリスクがある。灰皿は道路から少し控えた場所に置くよう店舗に申し入れをすると過去に聞いていたが、効果はどうだったか。
 - 市役所の環境部と土木部が協力し、エリア内の路上に面し受動喫煙のリスクになりうる灰皿を設置している店舗に、灰皿の移動や撤去のお願いをしてきた。納得いただけない店舗の方もいるが、全ての場所に行政が喫煙所を設置することはできないので、様々な立場の方が協力することでしか問題へ対応していけない。引き続いて協力い

ただけるよう働きかけていきたい。

- ・全てが行政の責任というわけではなく、建物内の一部を行政が借用する方法や、建物を建設した事業者が喫煙ブースを設け、行政が一部補助する等の方法も一つのやり方ではないか。
- ・お店の利用者が敷地内で喫煙するのは良いと思うが、通りすがりの人が灰皿を利用して喫煙所のようになっているところもある。土地の問題もあるだろうが、そういったところにも対応していったほしい。
- ・個々の飲食店も対応できるお店は努力している。法律で店内での喫煙が禁止になってから、ポイ捨ても触れるだろうから灰皿の設置が必要という意見もある。それなのに対応したら怒られたという意識もあると思う。ただ、前に進めていくために行政と飲食店が、歩み寄っていかないといけない。
- ・福山駅周辺だけでなく、鞆など福山市の顔となるような場所でもポイ捨てがあるよう状況で、そこに対しての対応について検討していくことはあるか。

→世界バラ会議の開催がある2025年5月までの当面の間は、福山駅周辺のポイ捨てや路上喫煙の状況の改善に注力していくが、福山市全域で路上喫煙をしないよう努力義務があるので、鞆や、松永や東福山の駅の周辺、また福塩線の道の上駅の周辺についてもボランティアの方々ともタッグを組んで取り組みを進めていければ、ひいては条例周知啓発につながればという考えはある。

(2) 路面標示の増設

【資料9】

- ・周知用看板、路面標示が2号線より南が増えていない。設置に偏りがあるように感じる。指定エリア内は満遍なく周知し、認識してもらうことが大事だと感じる。
 - 予算的な事やパトロールの状況などを勘案し、図の場所を優先的に取り組んでいる。
 - 中央公園側もひどい状況であるなら、設置を検討していきたい。
- ・設置場所が史跡内になると思うが、手続等に問題はないか。
 - 設置予定の場所は歩道上であり、関係部署とも連携を取って進めている。